

1学年通信

Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

1学年 第34号

2015.10.30 (金) 発行

加茂水族館 前館長「村上龍男先生」講演会感想Ⅱ いってみよう！

1組 I. M さん



今日の講演会では、大切なことをたくさん教えていただいたように思います。村上先生は「自分で考えて挑戦する人間になれ」「周りの人に理解されなくても独創的なアイデアを持って」「人を磨くのは失敗の経験だ」とおっしゃっていました。私は普段、どうしても周りの人の顔をうかがってしまう、自分の本心を大きな声で言えなくて、後から“言えばよかったかも……”と悩んでしまう

ことがあるのですが、そういう時は少し思いきって自分を主張してみるのも時には大事なのだと思いました。また、先生の「ドン底」に落ちてもどうやったら立ち直るのか全力で試行錯誤する前向きな姿勢にも感動しました。あっという間に時間が過ぎました。

1組 M. R さん

「人まねや現状維持ではお客さんは喜んでくれない。独創的なものに挑戦することが大事！」というようなことを心に刻みました。高校時代は自分の好きなことをして、のびのびと過ごし、ダイナミズムを爆発させたこともあると聞いて、とても驚きでした。チャレンジ精神、新しい発想は、自由な育ち方と関係があるのかもしれないと思いました。講演を聞いて、最初は難しそうな話だと思いましたが、笑いを誘われたり、考えさせられたりして、おもしろかったです。ユーモアのある話でした。とくに「くらげまんじゅう」などの話はたくさん笑いました。生きていく上で役に立つ力として、いろいろなことに興味を持つ力、自分のアイデアを伝える力があると学びました。人を呼ぶには報道関係者の心をつかむことが欠かせませんね。



2組 A. H さん

私は今回、村上館長のお話を聞いてただ真面目につまらない人生を歩んでいてもダメなんだなあと思いました。私はあまり積極的に行動したりすることが得意ではなかったのですが、村上館長の熱意のある講演を聞いて少し将来自分のしたいことや目標に自信を持つことができました。村上館長の何度も大きな壁に当たっても工夫してなんとかそのピンチを打開しようとする姿勢に感動しました。話は変わりますが、私は山岳部に所属しています。今年の夏休み明けの米興祭（文化祭）で山岳部に関する活動報告を全校生の前でしました。私は学校内でほとん

んど知られていない山岳部の魅力を伝えるためにいろいろ試行錯誤したことを覚えています。インパクトのある項目やみんなの興味を引くようなことは何かを考えたりしました。今回の村上先生の講演と山岳部の発表は似ている面があると思います。これから私は、視野を広げて、いろいろなものから多くのことを学んだりすることのできる村上先生のような人になりたいです。



2組 Y. S さん

他の水族館の経営の影で、加茂水族館の努力があって、とても感動しました。アシカのショーやラッコなどでお客さんを取り戻そうとした結果クラゲにたどりついて、クラゲの展示に専念した館長の姿にとっても感銘を受けました。村上館長の話聞いて、積極的に生きる事の大切さや、どんなことにも諦めない気持ちなどたくさんを学ぶことができました。このことをいろんな人に話して、これからの人生に活かしていきたいです。

3組 S. M さん

今日は待ちに待った講演会でした。小さい頃からクラゲが好きで、そのきっかけとなったのが、他ならぬ加茂水族館でした。加茂水族館にいくと、私はクラゲ水槽の前から動かないほど、クラゲは魅力的でした。クラゲアイスもおいしくいただきました。講演会では、世界一のクラゲ水族館になったいきさつを知ることができました。「プロフェッショナル」というのは“諦めない気持ち”だということや、“失敗したのは挑戦した証”ということを教えていただきました。



3組 S. Y さん

「村上先生ってすごい」これがこの講話の印象です。今まで何人かの講話をきくなかで、これほど話に聞き入ってしまう講話は初めてでした。いつも講話では、何か柵のようなもので囲いができているようだが、それが今回はなかったからだと思います。その柵が無いおかげで、話を多視点で聞くことができました。話の中で、先生は「勉強だけでも……」のようなことを何度も言いました。世の中ですべて必要なのは最低限の学力と気持ちの2つだと思います。その「気持ち」の部分深く聞いた講話でした。また「失敗が人を変える」とおっしゃっていて、それは「失敗は成功のもと」などということわざの100倍以上の説得力がありました。今回の講話はとてもためになりました。世に出て成功できる人間になれるよう興譲館で学習していきたいです。



3組 M. S さん

今日の講話を聞いたらむしろクラゲとたわむれたいと思うようになりました。小さな水族館で赤字が続いた話や大水槽の話で水族館の現実をききました。それでもずっと違うアイデアを出しつづけ、なんとかしようとしている姿がとてもかがやいているように見えました。私の将来何がまちうけているのか分からないので、何かかべにぶちあたった時、村上さんのように前を向いて生きていく人になりたいなと思いました。

3組 W. M さん

村上館長の講話はこれから私たちが生きていく上で重要なことを教えてくださった講話だと思います。私は村上先生の「人を磨いているのは失敗」という言葉が心に深く残っています。私も大きな夢を持っていました。しかし失敗や挫折をくり返し、その夢をあきらめました。そのことがずっと心残りでしたが、この言葉をきいて少し心が軽くなった気がしました。きっとその失敗も知らぬ間に私を成長させてくれていたに違いないと、村上先生の話聞いて前向きに考えることができました。村上先生は明るくユーモアがあり人をひきつけるパワーを感じました。私も村上先生のように強い信念と独創的な考えをもって生きていきたいと思いました。



4組 K. M さん

村上先生の講話をお聞きして感じたことは、「積極的に挑戦すること」「ユーモアのある人になること」「興味や好奇心を大事にして失敗を恐れないこと」です。どん底の状態からの逆転はクラゲを見て喜ぶお客さんの笑顔だったそうです。人の真似をした工夫ではなく、独創性が大事なのだとわかりました。また先生はとてもユーモアのある方で、先生のさまざまな経験談はとても面白かったです。私は将来の夢や目標が現実的なことと葛藤していて、はっきりと決められていません。ですが先生の話をお聞きして、いろいろなことに興味をもち、挑戦して、失敗をしたり経験したりと、自分の好きなことを思いっきり楽しんで、その時に本当に自分がしたいことを見つけないと思いませんでした。本当にためになるお話でした。



4組 S. A さん



小さな小さな水族館を世界的に有名な水族館にまでした村上先生の熱意は、とてもかっこよかったです。民間で経営していた時代はとても大変な思いをされていることが伝わってきました。それでもあきらめずに、試行錯誤していく姿勢は、今の私にも必要な力だと思いました。低迷期があっても必ず脱出することができると思います。脱出するために必要なのが、今回の講演で村上先生が何度も

おっしゃっていた“人のまねをしても変わらないから、自分の頭で考え、挑戦していくこと”だと思いました。そのためにも、今から様々な人の経験を知り、考える力を養い、挑戦するための力をつけなくてはならないとあらためて感じました。また、村上さんは、お金や水族館のためだけでなく、従業員や仕事仲間をととても大切にしていました。私も今、競い合い高め合っている仲間を大切にしたいです。今回の講演は、学ぶことがたくさんありました。本当にありがとうございました。

4組 S. H さん

今回の講演を聞いて、「挑戦を恐れない人間」「色々なことに興味を持つ人間」になることの大切さを学んだ。日々、葛藤を繰り返している私たち高校生にとって、村上龍男先生の「人を磨くのは失敗」というお言葉は、とても勇気をくれるものだった。私も行動するとき、ついでにリスクを考えて、実行に移せない時があった。これからそのような場合に直面したときは、とにかく突っ走り、積極的に行動できる人間になりたいと思った。そして、小さな成功でも喜べる、豊かな発想を持つ人になりたいと思った。そのために、世の中の何事にも興味、関心を持ち、考え続けることを心に置いておきたい。加茂水族館のクラゲのように、物事のチャンスはいつ現れるのかは分からないものだなと感じた。



4組 T. R さん



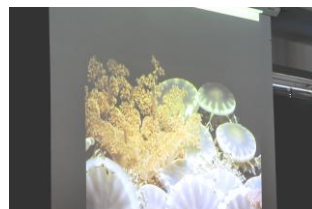
村上先生のお話をお聞きして、50年間も水族館で働いてきたという事にまず、驚きました。また、先生の決断力がとてもすごいと思いました。お話のなかで心に残った言葉も多くありました。1つ目は、“人のまねは効果がない”、2つ目は“いろいろなことに興味を持って”、3つ目は“現状維持はダメ、向上心を持つこと”、4つ目は“若いときには元気に、好きなことをうんとやる”、最後

に“挑戦する人になれば、失敗は挑戦したからある”という5つの言葉です。どの言葉も、長い人生の中で、数々の苦難を乗り越えてきた先生から教えていただくことで、とても心に残りました。私は、これから生活していく中でこれらの言葉を意識していきたいです。また、今度は、新しくなったクラゲドリーム館に行ってみようと思いました。



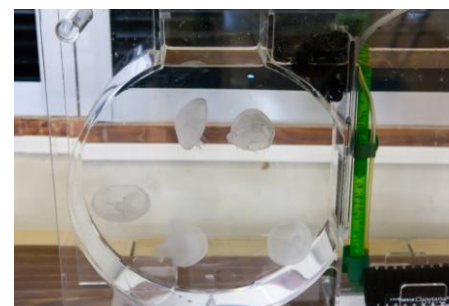
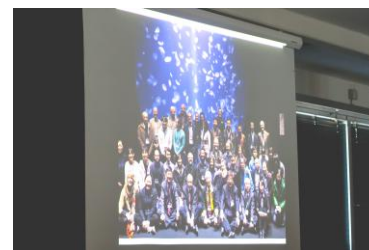
5組 H. A さん

私は今回の講演をきいて、自分の生き方について考えさせられました。私は小さいころからクラリネット奏者になるのが夢でしたが、親に反対され、その夢を諦め、今は看護師になるのが夢です。しかし、親に反対されたからクラリネット奏者になるのを諦めたのではなく、自分がクラリネット奏者になることに勇気を出せなかったからじゃないかと思いました。音楽は未知の世界ですが、公務員は給料は安定していて将来が保証されているといってもいいくらいです。結局、私は失敗したくないということだけで自分の夢を諦めたんだなあと思いました。私は臆病で弱いなあと思いました。なので、これからは色々なこと・ものに興味をもち、目標ができればチャレンジしてみて、失敗することをおそれず、自分の新たに見つけた夢を追っていきなさいと思います。



5組 Y. T さん

今回、村上龍男先生のお話をお聞きして、改めて、自分の高校3年間をどう生きるべきか考えるきっかけをもらいました。お話を聞いていて、一貫して言えることは、常に新しい事に挑戦すること、また、どんな大きい困難があってもぐっとこらえて我慢することだと僕は思いました。今の自分の生き方が今後何十年も生きていく上での糧になるのなら、自分は机上でこの3年間を終わらせたくないと思います。自分の住んでいる地域の近くにも多くの歴史や自然などがあり、それらについて無理をしてでも関わっていく。そして、実際に自分が経験しないとわからないことをたくさんして、様々な視点から物事を考え、常識にとらわれないアイデアを出していくこと。そうすることで、成功を勝ち取り、一生懸命に自信を持って生きられると思います。



「クラゲ達」は明日の土曜日にミホ先生に送迎され加茂水族館に戻ります。ライトアップしてくれた柿崎先生ありがとうございました。クラ毛さんサヨナラ!